

平成22年度（平成21年度決算）事務事業評価シート

平成23年 5月20日 作成

		担当課		総務グループ				
事務事業名		車両管理費		施策コード		55151218		
施策の体系	大項目	構想推進のために		法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	行財政の運営						
	小項目	財政の健全運営		実施方法	○ 直営	委託	その他	
	財務名称							
事業概要	公用車両を適正に管理する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	公用車両を対象とした一元管理を行う。 (2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） 公用車両を一括管理することで、職員の機動性を効率的かつ効果的に活用する。 また、専門職員の管理により車両運行の安全性を担保する。			消耗品（タイヤ・ワイパー・オイル）等の一括管理 車検費・公租公課（重量税）の一括管理 自動車保険の加入・保険請求等の一括管理 修繕費の一括管理 公用車両の使用管理システム（デスクネッツ）による管理				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点		追加理由	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	○	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	(説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点					
	○	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法当が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明)妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	○	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	従来、各担当毎に行われていた管理を一元化している。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加理由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
	○	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	○	事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点					
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成19年実績	平成20年実績	平成21年実績	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	洗車回数	回 / 年	179	174	195	180
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用人数	人	6,141	6,129	6,656	6,000
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
○	意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点						
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計		点																																																																																																																																					
	区 分	単位	平成19年決算額	平成20年決算額	平成21年決算額	平成21年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		○ 単位コスト	一般財源額																																																																																																																																			
	事 業 費	千円	4,490	5,307	4,585			○ 低下している	1点																																																																																																																																			
	国・道費	千円				区分(節)	金額	○ 変わらない	0点																																																																																																																																			
	地 方 債	千円				需用費	2,829	○ 上昇している	-1点																																																																																																																																			
	そ の 他	千円						説明																																																																																																																																				
	一般財源	千円	4,490	5,307	4,585																																																																																																																																							
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																				
	○ 現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1点																																																																																																																																					
	○ 執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、 効率化の余地は全くない。						1点																																																																																																																																					
○ 外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を 削減する余地は全くない。						1点																																																																																																																																						
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 B		項目別点数表																																																																																																																																									
			<table><tr><th></th><th>項目</th><th>点数</th><th></th></tr><tr><td>1</td><td>必要性</td><td>2</td><td rowspan="2">4</td></tr><tr><td>2</td><td>有効性</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>達成度</td><td>1</td><td rowspan="2">2</td></tr><tr><td>4</td><td>効果性</td><td>1</td></tr></table>		項目	点数		1	必要性	2	4	2	有効性	2	3	達成度	1	2	4	効果性	1	<table><tr><th colspan="2">低</th><th colspan="8">必要性 + 有効性</th><th colspan="2">高</th></tr><tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th></th><th>6</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr></table>										低		必要性 + 有効性								高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~		6											5											4											3						○					2											1											0											-1									
		項目	点数																																																																																																																																									
	1	必要性	2	4																																																																																																																																								
	2	有効性	2																																																																																																																																									
	3	達成度	1	2																																																																																																																																								
	4	効果性	1																																																																																																																																									
	低		必要性 + 有効性								高																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~		6																																																																																																																																	
											5																																																																																																																																	
										4																																																																																																																																		
										3																																																																																																																																		
					○					2																																																																																																																																		
										1																																																																																																																																		
										0																																																																																																																																		
										-1																																																																																																																																		
										-2																																																																																																																																		
担当課評価 B		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																										
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																												
現状のままで事業を継続						事業を拡充して継続																																																																																																																																						
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																												
○ 事業の簡素化、効率化による改善						執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																						
事業手法の見直しによる改善						住民参加等の推進による改善																																																																																																																																						
事業内容や契約方法等の見直しによる改善						その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																						
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																												
制度・事業内容の全面的な見直しを検討						対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																						
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討						他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																						
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討						その他																																																																																																																																						
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																												
廃止				統合				縮小				凍結				新たな事業への転換																																																																																																																												
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨						廃止可能		条件が整えば廃止検討可能				廃止は困難		その他																																																																																																																														
説明 一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 公用車両の一括管理は、一定の評価に値するものと思う。						今後の改善策等を具体的に記入します。 公用車使用管理システムの効率的な運用を今後進めると共に、消耗品等の経費節減に努める。																																																																																																																																						
二次評価	庁内委員会 評価 B		A 現状にて事業を継続または拡充				B 事業の進め方の改善・検討が必要				C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																	
			D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨				廃止				統合				縮小				凍結				新たな事業への転換																																																																																																																					
			説明 適切な運用管理に努めることで事務改善を図る。																																																																																																																																									
三次評価	三 次 評 価 B		A 現状にて事業を継続または拡充				B 事業の進め方の改善・検討が必要				C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																	
			D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨				廃止				統合				縮小				凍結				新たな事業への転換																																																																																																																					
			説明																																																																																																																																									